

松島の観光から考える人口流出問題

G6 班

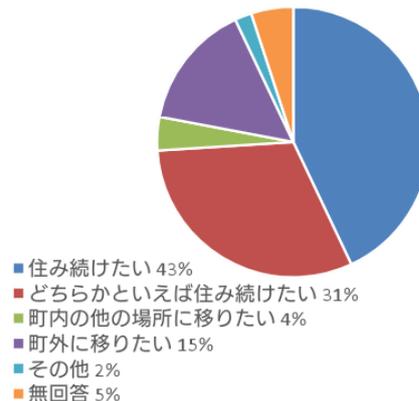
宮城県仙台第三高等学校

松島町は日本三景のひとつに数えられるなど、観光業を中心に栄えている。その一方で松島町の深刻な問題として人口流出問題が挙げられる。確かに少子高齢化もその要因として考えられるだろうが、果たしてそれだけが要因であるといえるのであろうか。実際の調査の結果より、松島町の1世帯あたり人員数は減少傾向にあり、松島町から都市への移住を考えている人も多く見受けられた。さらにその核心に迫ってみると、松島町の商業施設や医療施設が十分に整備されていないことがひとつの原因として見受けられた。以上のことより、さらなる観光業の発展はさることながら、町民の雇用先の増加、商業施設や医療施設の充実など、地元町民への待遇をより一層改善する必要があると思われる。観光業と町民の満足度を相互に向上できるような政策の思案が求められる。

1 背景

観光業を中心に栄えている宮城県・松島町は、日本三景の一つとして全国的に有名である。また、観光客数はその三つの中でも最大の数を誇っている。しかしながら、松島町の人口は県内最大の都市である仙台市の人口は、わずか100分の1にとどまっており、人口が減少していることにはなにか観光業と関連性を持っているのではないかと思い、探究活動を行った。

松島町民の定住意向



2 材料と方法

人口、世帯数、一世帯あたり人員の推移

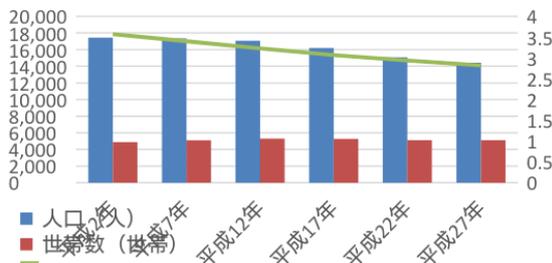


図1 (松島町ホームページより)

図2 (松島町ホームページより)

まず、図1から松島町の人口は徐々に減少する傾向が大きく表れていることがわかる。一方、世帯数には大きな変化がないものの、世帯当たり人口が著しく減少する傾向にあるといえよう。また図2から、松島町に住み続けたい、どちらかといえば住み続けたいと回答した人は、全体の約7割以上を占めている。しかしながら、松島町から移り住みたいと回答した人も一定数いる。

図1, 2の主要な原因として挙げられるのは、医療施設や商業施設が充実していないことに加え、社会保障の面でも満足いく水準に達していない。

3 結果と考察

事実として、人口が自然減少しているが、人口減少の理由はほかにも考えられるであろう。調査の結果から私たちは、松島の人口問題は「雇用」に問題があると考え。観光業が発展し、町民の雇用先が増えることによって、町の定住者が増加するというシステムを構成できるのが理想的であるといえよう。身近な例を見てみると、「コトニアガーデン新川崎」では、その敷地内で生活に必要なことをほぼ全て出来るような施設が整っている（病院・商業施設・塾・保育園・介護施設等）。このような住宅地の形成が人口増加を図ることができ、松島町の人口減少の歯止めをかけるものとなるかもしれない。観光の面以外でも、人口減少の主な理由として考えられるのが、若者の都市（仙台市）への流出である。松島町は東北最大の都市・仙台市の近くに立地しているため、就職等で移住してしまう人も多いだろう。加えて、県をまたいで関東地方への移住も多いはずである。ここには、前述のように松島町の商業施設の減少による雇用先の減少が理由として推測される。松島町では、観光が発展しているのにも関わらず人口減少が発生し、町の産業が衰退してきている根底には、住民が満足するようなシステムがあまり構築されていないということが大きいと結論づけた。

【参考文献】

○『第3章 松島町の現状と課題』より

<http://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/index.cfm/7,22955,c,html/22955/20181213-160458.pdf>

○『宮城県 松島町』公式HPより

<http://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/index.html>

○『COTONIOR GARDEN 新川崎 : ジェイアール東日本都市開発』より

<http://www.jrtk.jp/cotoniorgarden/shinkawasaki/>

○『立教大学観光学部』より

<https://tourism.rikkyo.ac.jp/>